

小諸合宿

2014/9/17-19

Meijigakuin university

明治学院大学

アジアのわ

合宿日記

1日目

小諸合宿一日目。朝九時半にみんな新宿駅で集合し、十時半のバスに乗り、和気あいあいとした雰囲気です。小諸へ向かいました。

去年の小諸合宿はりんご狩りから始めたようですが、今回の合宿は二日目の交流会の準備から始める予定です。バスの中で、夏休みの話しながら、それぞれ旅行のお土産を渡し、途中、パーキングエリアで休憩をはさみながら、約三時間で小諸に到着。バスの中では楽しい時間を過ごしました。

今回は去年と比べて人数が多いため、百福センターへの交通手段に不安があり、バス停の前でバスを待つか、タクシーで行くか、歩くか・・・悩んでいたとき、タクシーの運転手さんがわざわざ降りて、声をかけてきてくださり、私たちの人数を考えジャンボタクシーを紹介してくださりました。すぐ二台のジャンボタクシーが来て、全員が無事乗れて、順調に百福センターに向かいました。約二十分ぐらいで到着しました。チェックイン時間より早い到着ため、みんなホールで先に荷物を置いて、話しながらチェックイン時間を待ちました。山奥の景色はとてもきれいでした。空気も澄んでいて、少し涼しくて爽快感のある感じでした。ほとんどが去年来たことのないメンバーだったため、百福センターのオシャレさにびっくりしました。それぞれシーツと布団を整理終わった後に、ラウンジに集まって、二日目の準備を始めました。面白いアニメクイズや中国語の小演劇など、小諸の子供たちが、楽



しく遊び、また少しでも学ぶことができるよう心がけ、準備しました。二日目子供たちがどんな反応をするのか、期待と不安・・・不安の方が大きかったかもしれません。そんな気持ちで、夕食までいろいろ準備をやりました。

夕食は百福センターが提供の美味しいお弁当を食べました。最後に疲れたみんなはそれぞれお風呂に入り、あっという間に一日目が終わりました。



2日目

二日目は、朝の寒さに驚くことから始まりました。それと同時に、とても綺麗で澄んだ空気に感動し、小学生たちとの交流に向けて、気合が入りました。

交流会への参加は初めてで勝手が分からず、また、子供たちと遊ぶ機会もこれまでなかったために、とても緊張していたのですが、施設の方々がとても親切に迎え入れてくださったおかげで、心の準備ができました。

ゲームの内容としては、アジアの国々に関するクイズ、韓国語でのじゃんけんを使ったじゃんけん列車などを用意していたのですが、子供たちが楽しんで

くれるのか、正直なところ、不安がたくさんありました。

しかし、いざ始めてみると、子供たちはしっかりと私たちのお話を聞いてくれたり、楽しそうにゲームに参加してくれたりして、嬉しかったです。はじめは、子供たちも少し恥ずかしがっていましたが、たくさんの子供たちが参加してくれて、その元気に圧倒されました。現在流行しているアニメ主題歌を使用したことが功を奏したように思います。また、私たちが小学生のころに遊んでいた遊びを今の小学生たちもやっていることが、懐かし

く、少し不思議な感じがしました。最後には、もっと遊びたいという本当にうれしい子供たちの言葉のおかげで、予定にはなかったドッジボールまですることができ、私たちもとても楽しませてもらいました。たくさん不安から始まりましたが、終わってみると楽しい交流会となれたようで良かったです。

その後は、食材の買い出しをして、カレーや、中国人メンバーによる中華料理などを食べ、お互いを労いました。多少のハプニングもありましたが、それも含めて、とても良い経験、思い出となりました。



3日目

三日目の予定は、りんご狩りにバーベキュー、そして東京へ帰る・・・さみしいようで楽しみもつまった最終日。

小諸の町並みや、空気、気温、風景に慣れてきたと思ったら、もう最終日という思いでした。

去年小諸に行った先輩がたから、りんごがすごく美味しかったと聞いていたので、楽しみにしていました。りんご刈りをするため、少しだけ山を登ると、りんごの木がたくさんあり、また天気も快晴だったことで、りんごの赤が、より一層赤々ときれいに光ってみえました。四種類のりんごを説明していただき、それぞれ好みのりんごをとって剥いてもらい食べました。取立てのシャキっとした、甘いりんごは初めてで、本当に美味しかったです。りんご農園の上からみた景色は一層きれいでした。そこでお話しながらいんごを食べたのは、絶対に東京にいたら味わえない至福だったと感じます。

りんごでお腹が満たされながらも、続いてはバーベキュー。バーベキューをしながら、隣にあった釣り堀で釣った魚を焼いていただきました。お肉に、魚に、野菜に・・・本当に贅沢で満腹になった最後の小諸での食事でした。



その後は、それぞれ家族や友人にお土産を購入し、駅に戻り、帰りの高速バスを待ちました。

帰りのバスはお腹がいっぱいなのと、疲れもあったのか、それぞれゆっくり休みました。



小諸合宿まとめ

去年に引き続き、今年も「アジアの“わ”」として小諸市に訪れる機会をいただきました。もちろん、今回も小諸市内の児童館での交流会を主な目的として活動しましたが、小諸市のありふれた自然といった面も含め、有意義な三日間を過ごすことができました。また、今年は参加したメンバーは、人数・学年ともに多様だったのですが、この活動を通して性別や学年の垣根を越えて絆を深められた貴重な機会にもなりました。

交流会に向けては、「子どもたちの興味を惹かせながら、アジアの“わ”だからこそ出せる“異文化”の色」をどのような催しで表現できるかを事前に話し合いました。試行錯誤しながら前日まで準備や打ち合わせをし、迎えた本番では多くの子どもたちが参加し、終始笑顔が絶えない時間をメンバーや子どもたちと共有することができました。この催しを通して、中国や韓国といったアジアの国、ひいては異文化について一人でも多く興味をもっていただけたら…と思います。

この貴重な三日間に至るまでを支えていただいた小諸市の役員の方々、明治学院の方々、また子どもたちや各施設の方々には本当に感謝しています。またこれからもこの繋がりを絶やすことなく、アジアの“わ”と小諸市、そして明治学院と小諸市がより良い関係を築いていくことを願っています。

アジアのわ 参加メンバー

山成正晃 三輪波留加 左予辰 藤本集人 瀬田奈美江 佐藤柚木
斎藤里緒 諸杏梨 関口真史 横塚こはる 五乙女恭子 山脇舞子
天倫 呉沈 片岡理沙 馬場真生 思遠

提言・提案

・国際交流&自然体験ツアー

長野県は行ったことがあるが、小諸市を知らない人が周りに多いため、小諸市の良さを伝えていきたい。そこで、学内で一泊二日の小諸ツアーを提案する。対象者は明治学院大学の一般学生、留学生である。募集方法としては、学内のホームページや掲示板で募集をかけたい。できるだけ留学生をたくさん集めたい。交通手段としては基本的にバスと大型タクシーを利用する。人数が多い場合は貸し切りバスを利用する。1日目は普段はなかなか出来ないリンゴ狩りや魚釣りで小諸市の自然と触れ合い小諸市の魅力を体験する。特に留学生には小諸市で日本の自然の良さを知ってほしい。2日目は小諸市の小学生または中学生と国際交流も兼ねて、交流の場を設けたい。食事はバーベキューを考えている。りんご狩り、魚釣りそしてバーベキューも松井農園がすごく良かったので、また松井農園を利用したい。

・乙女湖公園での交流

大学生と小諸市の子供たちとの交流で、乙女湖公園を利用してする。丸1日のプログラムで、午前中は全体でアイスブレイク、国内外に関する遊びやクイズ、ワークショップなどを行い、仲を深め、途中お昼をはさみ、午後はグループに分かれ、野鳥の森、散策の森を回り、自然のなかで交流することにより、楽しい時間が過ごせるのではないかな。

・今回の反省を活かして

2日目にパンフレットを頂いたが、あまり小諸市の歴史や魅力などの知識を身につけずに参加したため、最初はあまりよくわからなかった。行く前に一回でもミーティングを行うなどしてその際に小諸の歴史や観光や知識を共有することができたらいい。そうすると、さらに小諸市での活動が楽しくなる。

子どもたちと触れ合う時間が少なかったと感じた。施設での触れ合いだけでなく、次の日のバーベキューやりんご狩りを一緒にやったらもっと距離を縮められたと思う。中には初めてバーベキュー・りんご狩りを体験する小学生もいるかもしれない。逆に私たちが子どもたちに、おすすめのりんごを教えてもらうこともできる。また、山を散策して植物や虫などの自然と触れ合う時間があるといいと思う。